

平成29年10月20日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(79回公演)報告

29.10.19 地域活動「ふれあいサロン中郷」 深谷市武蔵野

今日の公演は熊谷学園で一緒に勉強し、現在旧花園町下郷地区で中心的な立場で地域活動を行っている高野久美子さんの依頼で公演が実現しました。この「いきいきサロン」は下郷地区の高齢者の方々が交流を深めるため2カ月毎に集まり開かれているものです。特にそこに住む地域の方々が率先して、昼食を作ったり、デザートを準備したりして定期的に娯楽の場を提供しているもので、現代社会でまかり通っている個人中心主義の風潮の中にあって、穏やかに隣り近所手を取り合って過ごす、古き良き日本の『慣習』が残っている事に改めて感動しました。

会場は下郷公民館で、初めて伺う地域で会場が分からず迷っていると、同じ「ふれあいサロン」に行く方に出会いやっと一安心しました。会場に着くと高野さんが出迎えてくれ、久しぶりに会う舛田さんと親しく話をしていました。建物内では既に多くの地域の方々が接待の準備をしていました。10時からは「ヨガ」による軽い運動です。10時30分になり、高野さんの先導で会場に入りました。既に40人程方が集まり開演を待っていました。

高野さんからの紹介のあと、「南京玉すだれ」の演技が始まりました。今日の方々は皆さん元気な人ばかりで、口唄が始まると大きな力強い手拍子も聞かれ、演技する我々も次第に熱が入っていきました。「きよしのズンドコ節」では曲中の「きよし」という元気な掛け声も聞かれました。自己紹介、「玉すだれ」の話、5人の得意技の披露が終わり、「玉すだれ」の触れ合いコーナーでは、ほとんどの人が初めての経験で、「重さは?」、「中間部が折れるのは?」などのいろいろな質問が聞かれました。「サザエさん体操」では皆さん立ち上がり一緒に体を動かしました。「東京五輪音頭」の後アンコールで「麦畑」を演じ60分の公演が終わりました。着替えてから会場に戻り、皆さんと一緒に朝から準備していた「焼きそば」とデザートを戴き、再会を約束して帰ってきました。



